



巻頭言

平成29年度総会を終えて

会長 上田 任克 (四條畷学園大学)

平成29年度一般社団法人大阪府作業療法士会総会におきましては議案の審議にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

昨年度までは地域包括ケアシステムにおける市町村事業への対応のための受け皿づくり、公益社団法人大阪府理学療法士会、一般社団法人大阪府言語聴覚士会との連携づくり、大阪JRATの設立など大阪府作業療法士会の活動の基盤づくりを重点課題として行ってきました。府士会の定款に定めている「大阪府民の保健・医療・福祉の発展に寄与する」という目的を達成するための基礎ができたという段階です。更に、4月からはブロックが府士会の組織となったことで府士会・ブロックが一体となった様々な活動を展開していきたいと考えています。近年の医療を取り巻く状況の急激な変化において府士会単独で解決できることは少なくなっています。行政や他の専門職団体と連携して取り組まなければ解決できない状況も増えています。今後も他団体との連携を強化したいと思います。一方で3月末に都道府県作業療法士連絡協議会は発展的解散を遂げました。これまで近畿支部で行ってきた近畿学会やバリアフリー展、MTDLP研修会、認知症研修会、災害支援対策など近畿の作業療法士会で取り組んできた事業があります。新たに近畿2府4県の作業療法士会により近畿作業療法士連絡協議会を発足し今後も事業を継続していくことが決まっています。次年度は大阪において辻薫学会長のもと第38回近畿作業療法学会が行われます。

現在の大阪府作業療法士会は府士会員の質的向上はもちろんですが、対外的にも大きな役割を担っています。しかし、そのための人材育成や組織率の強化など、さらなる「組織基盤の強化」が急務であり、最重要課題であると考えています。

会員の皆様の府士会活動への積極的な参加およびご支援・ご協力をお願いします。



総会後の表彰受賞者記念祝賀会